

あぶたん つうしん

120号

あぶくま大堰 R E P O R T !

職場体験～岩沼西中学校～



平成25年5月15日(水)、岩沼西中学校2年生5名の皆さんが阿武隈大堰と堤防災害復旧工事現場へ職場体験に訪れました。

まず、なぜ阿武隈大堰が必要なのかについて勉強したあと、操作室で監視カメラやモニターを使って大堰の操作方法について説明を受けました。

自在に動かせる監視カメラの映像にみんなの視線は釘付け！

「魚道の中に壁が互い違いに立っているのはなぜ？」「調整ゲートはどのような役割があるの？」といった様々な質問が交わされました。



操作室での様子



阿武隈大堰を見学

その後は、いよいよ阿武隈大堰本体へ移動です。

大堰管理橋の入口には鍵がかけられており、普段は一般の人は入ることが出来ませんが、今日は特別です。

管理橋に入ると、大堰のゲートから勢い良く流れる水流が間近に見られます。その迫力に圧倒されながら、現在行われている護床工復旧工事の説明を受けたり、ゲートの上げ下げの操作をする巻き上げ機械が格納されている管理棟内部をじっくりと見学しました。



次は、津波で被災した河口部の堤防復旧工事の現場(阿武隈川下流寺島1工区堤防災害復旧工事)へと向かいます。

ここでは、測量作業に使用する高さや距離を測る機器を使ってみたり、締固めされた土の密度を測る機器で計測してみたり、土を締め固めるタイヤローラという大型機械に乗ってみたりなど、実施に機械に触ってみたり、使ってみたり、乗ってみたり…いろんな体験をしてもらいました。



高くて見晴らしがいいなあ～



うお～見える！



なるほど、なるほど。



ごうどうひかんでんけん

合同樋管点検

を実施しました

樋管(ひかん)とは、住宅側(堤内地)の排水を河川に導くために、堤防を横切って設けられた構造物です。また洪水時には河川の水が逆流しないよう、ゲートが設置されています。

6月から始まる出水期を前に、水閘門(すいこうもん)操作員の人たちと国土交通省職員が合同で施設の点検を行いました。

実際にゲートの上げ下げを行って確実に止水できるかの確認や、本体の劣化、異音など不具合がないかチェックしました。

異状があれば直ちに補修または応急復旧にて対応し、洪水に備えています。



樋管



ゲートの動作確認



内部点検



出水期に備えて

梅雨

台風

<準備を怠りなく>



劣化の確認



きよかこうさくぶつてんけん

許可工作物点検

を実施しました

阿武隈川に架かる橋や、阿武隈川から取水・排水する施設(揚排水機場等)のことを「許可工作物」と呼びます。

出水期を前に、許可工作物の施設管理者と国土交通省職員が合同で岩沼出張所管内の施設点検を行いました。

許可工作物に危険な箇所や構造的な問題がないか、また動作状況に異状がないかを年1回合同で点検し、河川やその周辺への影響がないかといった安全性を確認しています。



目視も重要

